

報告事項ソ

平成27年度第2回いじめ・不登校対策本部会議の概要について

平成27年度第2回いじめ・不登校対策本部会議の概要について別紙のとおり報告します。

平成27年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成27年度第2回いじめ・不登校対策本部会議の概要について

平成27年11月20日
いじめ・不登校総合対策センター

1 第2回いじめ・不登校対策本部会議

平成25年度から、いじめの問題、不登校問題への対応・未然防止に向けた対策について、県教育委員会関係課等をあげて取り組むため「いじめ・不登校対策本部会議」を設置していますが、国の調査結果公表を受け、下記のとおり開催しました。

- 1 日時 平成27年10月27日（火）午後4時から午後5時まで
- 2 場所 教育委員室
- 3 出席 教育長、教育次長、関係課長7名、各教育局3名、他関係職員7名
- 4 主な内容

(1) 平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果の概要について

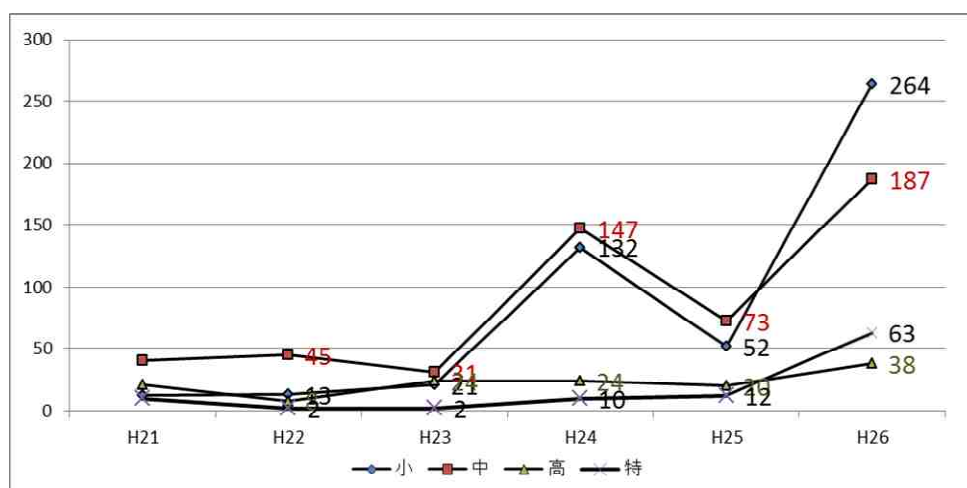
① いじめの状況について

◇平成26年度のいじめ認知件数は、小学校264件、中学校187件、高等学校38件、特別支援学校63件と、平成25年度と比べて大幅に増加した。

【認知件数の推移】

いじめ		H21	H22	H23	H24	H25	H26
鳥取県 (国公立)	小	12	13	21	132	52	264
	中	40	45	31	147	73	187
	高	21	8	24	24	20	38
	特	10	2	2	10	12	63
	計	83	68	78	313	157	552
	認知件数/千人	1.2	1.0	1.2	4.8	2.4	8.7
全国 (国公立)	小	34,776	36,909	33,124	117,384	118,748	122,721
	中	32,111	33,323	30,749	63,634	55,248	52,969
	高	5,642	7,018	6,020	16,274	11,039	11,404
	特	259	380	338	817	768	963
	計	72,788	77,630	70,231	198,109	185,803	188,057
	認知件数/千人	5.1	5.5	5.0	14.3	13.4	13.7

【鳥取県の推移】
(H21～H26)



② 主な意見と今後のいじめ問題への対応について

◇平成26年度にいじめの認知件数が大きく増加した背景と要因を以下のように分析した。

岩手県の事件をきっかけに、国から調査の見直し依頼が行われたことを重く受け止め、子どもの思いをより積極的にキャッチし、「初期段階のものやごく短期間に解消したものについてももれなくいじめとして認知する」姿勢が強まったため。

◇県としては、国からの通知の趣旨を重く受け止め、「積極的ないじめ認知は、学校が組織的にい

じめをとらえ、解消に向けて取り組んでいる。」と肯定的にとらえている。

- ◇今後も定義に照らして積極的にいじめと認知し、適切に対応することを継続するよう周知徹底していくとともに、児童生徒間のトラブルやアンケート調査の記録等についても校内で組織的な対応がなされるよう適切に保管していく必要がある。
- ◇各学校では、アンケート調査を年に数回実施したり、相談週間を設けたりしてきめ細かく発見するよう努めている。
- ◇子どもたち自身が取り組むいじめ対策（スマイル月間の設定、いじめをなくそうサミット、生徒会によるスローガン作成等）に力を入れている市町村も多く見られる。
- ◇「地域と共に創るとっとり人権教育事業」において、学校・家庭・地域が連携して、いじめの防止等のための効果的な研究実践プログラム作成に取り組んでいる。
- ◇積極的に認知して対応する方向性はよいが、いじめによって重大な事態に発展させないことが重要である。

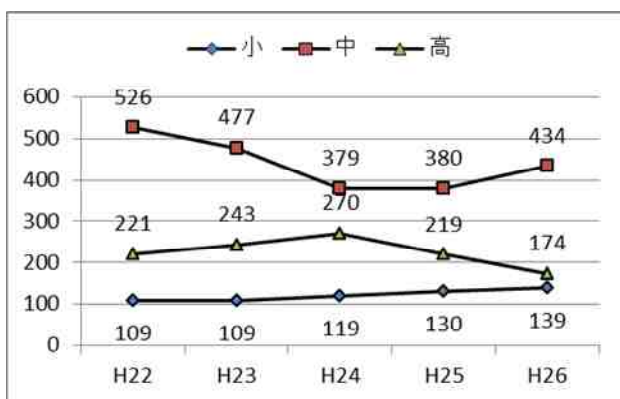
③ 不登校の状況について

- ◇小学校 139 人
- ◇中学校 434 人
- ◇高等学校 174 人

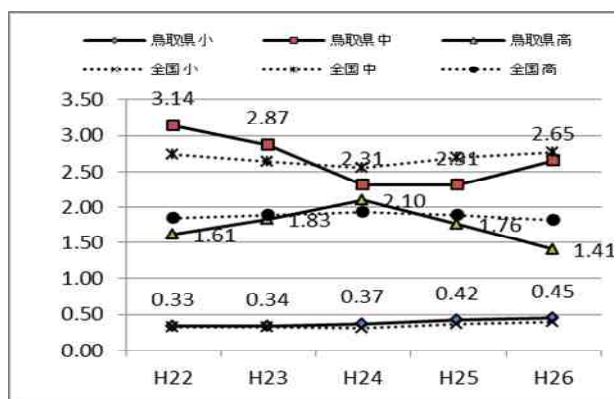
不登校		H21	H22	H23	H24	H25	H26
鳥取県	小	117	109	109	119	130	139
	中	490	526	477	379	380	434
	高	215	221	243	270	219	174

(小・中：国公立 高：公立のみ)

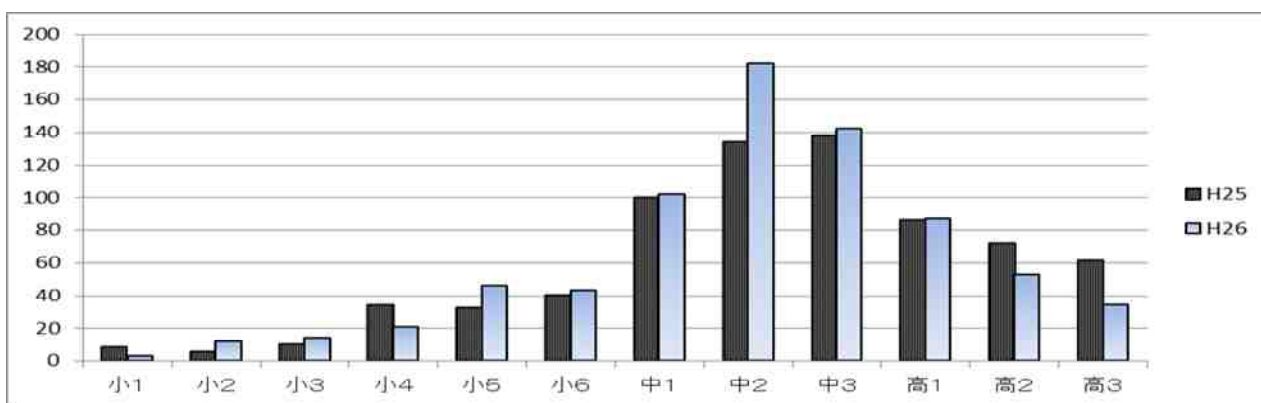
【不登校児童生徒数の推移】



【不登校児童生徒出現率の推移】



【学年別人数の推移】(公立のみ)



④ 主な意見と今後の不登校対策について

- ◇焦点を絞って対策検討を進める必要がある。中学校2年生での増加を抑える対策や不安・無気力への対応について効果的な対応例を収集し、情報提供することを検討する。
- ◇不登校児童生徒への支援のためにサポートシートを活用している市町村から、効果的な活用例を収集し、情報提供するなどして、サポートシートの活用を進めていってはどうか。
- ◇不登校への対応は個別に違いがあると思うが、うまくいった例やうまくいかなかった例について情報提供するなどして、重篤な不登校としないために支援していきたい。